



郷土史

ていね

第193号
令和6年5月8日
手稲郷土史研究会 会報

会長ご挨拶

令和6年度のスタートに当たり一言ご挨拶申し上げます。

手稲郷土史研究会 会長 沖田 紘昭



昨年の1年間で一番うれしかったことは、旧友の皆さんの復帰でした。今年度から茂内前会長、小田前部長、立花(顕)前部長が平木さん、若松さんとともに特別顧問に就任いたしました。ご高齢のため毎回の例会に出席できない時間があるかもしれませんが、会の運営に大所高所よりアドバイスをいただくことになって居り、大変心強く思っております。

さて、今年度の事業計画を見ていただくと、例年になく項目がにぎやかなことがわかります。毎月の例会、秋の研修旅行は研究部の努力によりお陰様で充実したものになって居ります。まず既報のように7月に野村顧問追悼文集の発行を計画し既にスタートしております。さらに北海道科学大学様との8月の共同展示計画と、もう一つ当会の来年の20周年記念事業の準備を、今年からスタートさせねばならないことが書かれています。

科学大学様との計画は、8月に“Hitaru”で開催予定の、同大学の創立100周年記念式典に合わせて計画されております。未来デザイン学部メディアデザイン学科教授小谷彰宏教授のご指導により、「地域住民の活動をデザイン化する」学部の授業の一環として私たち手稲郷土史研究会を選んでもいただきました。郷土の歴史がどのようにデザイン化されるのか、いまから完成が待ちどおしい、とても心躍る企画展になると思います。

来年の当研究会の20周年は丁度広報紙「ていね」の200号発行と期を一つにしています。「たゆまざる歩み」の第2号発行は必須事業として既に2月の役員会で決定し、広報部岡和田部長のもとで準備に入っております。「手稲郷土史まつり」は今年夏には実行委員会を作り、内容を含めて検討に入る予定で居ります。内容、規模ともぜひ充実したものにしたいと念じております。

また、継続して手稲区役所「歴史コーナー」の復活を図らねばなりません。さらなる区役所地域振興課との意見交換が必要です。また、今年から、かねてより課題の「手稲郷土資料館の建設」の事業にも着手します。以前にも建設期成会はありましたが、数年前に立ち消えになっております。この事業の再建には大変な“重労働”が必要です。私たちの研究会だけの力では決して実現できません。手稲区の“全力”を集中させねばならないからです。連合町内会や商店街様のご協力、教育委員会や科学大学、手稲区様のお力添えをいただかねばなりません。そして私たちは、実現までの長い時間を懸命に支えていかねばなりません。「言うは易く、行うは難し」そのものです。会員の皆様におかれましては、どうか当会発足の第1目標であるこの事業実現のために、改めて覚悟を決めてご尽力いただきますようお願いいたします。

令和6年度 定例会 研究発表予定表

開催日時	内容(仮題)	発表者	
5月8日(水)18:15	手稲に関わる和田家のルーツ	和田敬友氏	元北海道議会議員
6月12日(水)18:15	オタルナイ川について	石川道章氏	小樽市総合博物館館長
7月10日(水)18:15	駅伝、小樽の三ツ馬を走る 美瑛に育った歴史家 野村武雄先生	立花顕次 茂内義雄	手稲郷土史研究会 会員 手稲郷土史研究会 会員
8月14日(水)18:15	茶話会		
9月11日(水)18:15	前田農場について	森山祐吾氏	ノンフィクション作家
10月9日(水)18:15	乗り越えた天寿 第3弾	平木重雄	手稲郷土史研究会 会員
11月13日(水)18:15	石、よもやま話	若松幹男	手稲郷土史研究会 会員
12月11日(水)18:15	島 義勇について	梶本孝氏	手稲郷土史研究会元会員
1月8日(水)18:15	地域の青少年の健全育成に立ち上がった「前田ふるさとの会」	永井道允	手稲郷土史研究会 会員
2月12日(水)18:15	札幌のサイロについて	菊池博行	手稲郷土史研究会 会員
3月12日(水)18:15	前田森林公園について	神川君江	手稲郷土史研究会 会員

*会場は いずれも手稲区民センターの予定ですが変更の場合もあります。定例会または会報誌でご確認ください。

手稲郷土史研究会の令和6年度「定期総会」を開催

4月10日、手稲区民センター3階視聴覚室において手稲郷土史研究会の令和6年度『定期総会』が開催されました。第1号議案「令和5年度事業報告」、第2号議案「令和5年度決算報告」、第3号議案「令和5年度会計監査報告」、第4号議案「令和6年度事業計画(案)」、第5号議案「令和6年度予算(案)」、第6号議案「役員選任」のそれぞれについて審議の結果、すべて承認されましたので、ご報告致します。令和6年度の役員と分掌は次のとおりです(敬称略)。



会長＝沖田紘昭、副会長＝立花邦雄(兼 渉外担当)・乙黒通子(兼 広報担当)、事務局長＝林俊一、理事＝中島千恵子(会計部長)・川上義昭(総務副部長)・濱埜静子(研究部長)・神川君江(研究副部長)・岡和田夢子(広報部長・資料部長)・菊池博行(研究部委員)・諸橋弘子(研究部委員)。相談役は鈴木清士・永井道允、監事は佐々木光男・都築俊文の各氏が就きました。



定期総会終了後には令和元(2019)年以来、5年ぶりに手稲郷土史研究会の懇親会が行なわれました。手稲区市民部長・岩立明彦様、手稲区連合町内会長・平川登美雄様をお迎えし、和やかな時間を過ごしました。

皆様、新年度もご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

次回定例会 ⇒ 発表内容「オタルナイ川について」石川道章氏(小樽市総合博物館館長)
6月12日(水)18:15～ / 手稲区民センター 3階 視聴覚室 ※会員以外の方のご参加は事前の申し込みが必要です。

手稲郷土史研究会 会報「郷土史ていね」第193号 令和6年5月8日発行 発行責任者: 沖田紘昭(手稲郷土史研究会 会長) 編集: 岡和田夢子
❖ 〒006-0818 札幌市手稲区前田8条11丁目4-5 林 俊一 方 手稲郷土史研究会 ❖ TEL 090-3381-4994 ❖ FAX 011-682-9874
❖ メールアドレス teinekyoudoshi@gmail.com <担当 岡和田>